

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課がん対策推進室長 西尾 淳 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	医療従事者確保対策事業	
目的	(1) 対象	看護師、歯科衛生士及び歯科技工士
	(2) 意図	緩和ケアに精通した看護師の養成、歯科医療に従事する歯科衛生士及び歯科技工士の確保を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアアドバイザー研修の実施（15日程度） ・歯科衛生士の復職支援セミナーの開催 ・歯科衛生士養成所の設備整備 ・人材確保協議会の開催 	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 緩和ケアアドバイザー研修修了者数	目標値		377.0	397.0	417.0	437.0	人
		取組目標値						
	式・定義 緩和ケアアドバイザー研修修了者数	実績値	359.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 往診・訪問診療を行っている歯科医療機関数	目標値		184.0	184.0	184.0	184.0	箇所
		取組目標値						
	式・定義 往診・訪問診療を行っている歯科医療機関数	実績値	184.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	13,180	4,317
うち一般財源 (千円)	0	0

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・緩和ケアアドバイザー研修の修了者は、平成27年度で20名増加し、359名となった。
- ・復職支援セミナーを1回開催し、17名の参加があった。
- ・歯科技工士養成校の学生との意見交換会を1回開催し、42名の参加があった。
- ・歯科衛生士養成所整備に対する支援を行った。

6.成果があったこと（改善されたこと）

緩和ケアアドバイザーが増えたことにより、緩和ケアの提供体制の推進につながった。また、緩和ケアアドバイザー養成研修の受講をきっかけに緩和ケア認定看護師の取得を目指すなど、より一層の緩和ケアに精通した看護師の育成に寄与した。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・各病院の緩和ケア推進のリーダーとなるがん看護専門看護師や認定看護師が不足しており、緩和ケアの提供体制が不十分。
- ・訪問歯科診療（専門的口腔ケアを含む）ができる歯科衛生士等が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・がん看護専門看護師や認定看護師の養成研修は長期の派遣が必要となるが、各病院にそのような体制がない。
- ・歯科衛生士等について地域偏在があり、地域によっては不足している。

③原因を解消するための「課題」

- ・短期の派遣で緩和ケアの基礎的技術を習得できる緩和ケアアドバイザーを増やし、がん看護の専門看護師や認定看護師の不足を補うことが必要。
- ・養成所の学生や離職中の有資格者など対し、地域での歯科医療の重要性について認識を高めていく必要がある。

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・緩和ケアアドバイザー養成研修を引き続き実施し、緩和ケアに精通した看護師を増やす。
- ・緩和ケアアドバイザーとなった看護師が、各病院でより一層活躍できるよう、フォローアップを行う。
- ・セミナーや人材確保協議会を継続実施することにより、地域での歯科医療の重要性についての認識を高める啓発を行っていく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）